

平成 28 年 10 月 14 日

各 位

会 社 名 日創プロニティ株式会社  
代表者名 代表取締役社長 石田 徹  
(コード：3440 福証 Q-Board)  
問合せ先 取締役経営企画室長 諸岡 安名  
(TEL 092-552-3749)

## 中期経営計画改定に関するお知らせ

当社は、平成 27 年 10 月 13 日付け公表の中期経営計画（平成 28 年 8 月期～平成 30 年 8 月期）につきまして、下記理由により同計画を見直し、中期経営計画（連結）（平成 29 年 8 月期～平成 30 年 8 月期）として、平成 28 年 10 月 14 日開催の取締役会において決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 理由

平成 28 年 8 月期第 3 四半期より連結財務諸表作成会社へ移行したこと及び事業環境の変化に伴い最終年度の単体売上高計画を見直したことによるものであります。

#### 2. 変更点

変更点は以下のとおりであり、変更後の内容は添付資料のとおりであります。

- (1) 連結財務諸表作成会社へ移行したことに伴い、単体の「経営理念」、「ミッション」及び「ビジョン」を、企業グループ全体を束ねる「グループ経営理念」、「グループミッション」及び「グループビジョン」へと、グループ経営に対応した内容に見直しております。また、「持続的な成長のための経営課題」につきましても、同様にグループ経営に対応した内容に見直しております。
- (2) 当初計画の中期経営目標につきましては、単体売上高 72 億円をベースとして M&A の寄与 28 億円を加算し、最終年度の売上高を 100 億円としておりましたが、今回の改定では、事業環境の変化に伴い、単体売上高 40 億円をベースとして M&A の寄与 30 億円を加算し、最終年度の売上高を 70 億円に見直しております。また、営業利益についても、15 億円（営業利益率 15.0%）から 7 億円（同 10.0%）に見直しております。なお、営業利益率は 2 ケタを維持することといたします。

#### 3. 本中期経営計画（連結）の位置づけ

中期経営戦略の変更はありません。本中期経営計画（連結）は、残り 2 期間（平成 29 年 8 月期～平成 30 年 8 月期）の経営計画とし、次期 3 ヶ年中期経営計画（連結）へつなげる位置づけといたします。

以 上

 日創プロニティ株式会社

中期経営計画（連結）（平成29年8月期～平成30年8月期）  
～新たなステージへの挑戦 Challenge the next stage 創業40周年に向けて～

平成28年10月14日（改定）  
代表取締役社長 石田 徹

# 目次

中期経営計画の改定	.....	2
グループ経営理念・グループミッション・グループビジョン	.....	4
中期経営戦略	.....	5
M & Aの推進方針	.....	6
持続的な成長のための経営課題	.....	7
中期経営目標（平成30年8月期）	.....	10
配当方針	.....	11

# 中期経営計画の改定

## 理由

- (1) 平成28年8月期第3四半期より、連結財務諸表作成会社へ移行
- (2) 事業環境の変化に伴い、最終年度の単体売上高計画を40億円に見直し

## (1) 経緯

- 平成28年3月15日、事業領域を拡大するとともに企業価値の向上を図るため、吾婦ゴム工業株式会社の全株式（自己株式を除く）を取得し子会社化（みなし取得日：平成28年5月31日）
- 平成28年4月28日、当社グループの材工一括受注体制を強化するため、日創エンジニアリング株式会社を子会社として設立（建設業の免許取得日：平成28年6月16日）

## (2) 変更点

- 単体の「経営理念」、「ミッション」及び「ビジョン」を、企業グループ全体を束ねる「グループ経営理念」、「グループミッション」及び「グループビジョン」へと、グループ経営に対応した内容に見直し。同様に、「持続的な成長のための経営課題」についても、グループ経営に対応した内容に見直し
- 当初計画の中期経営目標は、単体売上高72億円をベースとしてM & Aの寄与28億円を加算し、最終年度の売上高を100億円としていたが、今回の改定では、事業環境の変化に伴い、単体売上高40億円をベースとしてM & Aの寄与30億円を加算し、最終年度の売上高を70億円に見直し。また、営業利益についても、15億円（営業利益率15.0%）から7億円（同10.0%）に見直し。なお、営業利益率は2ケタを維持

## (3) 本中期経営計画（連結）の位置づけ

- 中期経営戦略の変更はない。本中期経営計画（連結）は、残り2期間（平成29年8月期～平成30年8月期）の経営計画とし、次期3ヶ年中期経営計画（連結）へつなげる位置づけとする。

# グループ経営理念・グループミッション・グループビジョン

## グループ経営理念

### 日々創造

当社の創業の精神であり社名の由来でもある「日々創造」は、日創グループに所属する私たちの精神的支柱であり、また日々の業務の現実的な指針です。私たちは、短期的な課題に対しても、長期的な課題に対しても、「日々創造」する企業集団であり続けます。

## グループ経営理念のもと

### グループミッション

#### 価値の創造

(社会貢献)

私たちは、金属加工だけではなく、金属以外の加工、モノづくり、周辺事業へと事業領域を拡大し（事業の多角化）、新たな価値を創造していくことを通じて、社会に貢献してまいります。

### グループビジョン

#### 加工の総合商社

(挑戦)

「加工の総合商社」が私たちの進むべき方向であり、常に追い求める企業グループ像です。私たちは、グループビジョンに向かって、エンドレスに挑戦を続けます。

# 中期経営戦略

## 中期経営戦略

- (1) M & Aの推進、アライアンスの推進による事業領域の拡大（事業の多角化）
- (2) 3年間で上限50億円のM & A及びアライアンスに係る戦略投資枠の設定  
～新たなステージへの挑戦 challenge the next stage 創業40周年に向けて～

### (1) M & Aの推進、アライアンスの推進による事業領域の拡大（事業の多角化）

● M & Aの推進、アライアンスの推進により、金属加工だけではなく、金属以外の加工、モノづくり、周辺事業へと積極的に事業領域を拡大し、事業の多角化を推進する。

※中計初年度実績：吾孺ゴム工業株式会社（ゴム加工事業）を子会社化

### (2) 3年間で上限50億円のM & A及びアライアンスに係る戦略投資枠の設定

● 経営の機動性を高めるため、3年間（平成28年8月期～平成30年8月期）で上限50億円の戦略投資枠を設定。これにより中期経営目標の達成を図り、新たな企業ステージのセカンドステップへつなげる。

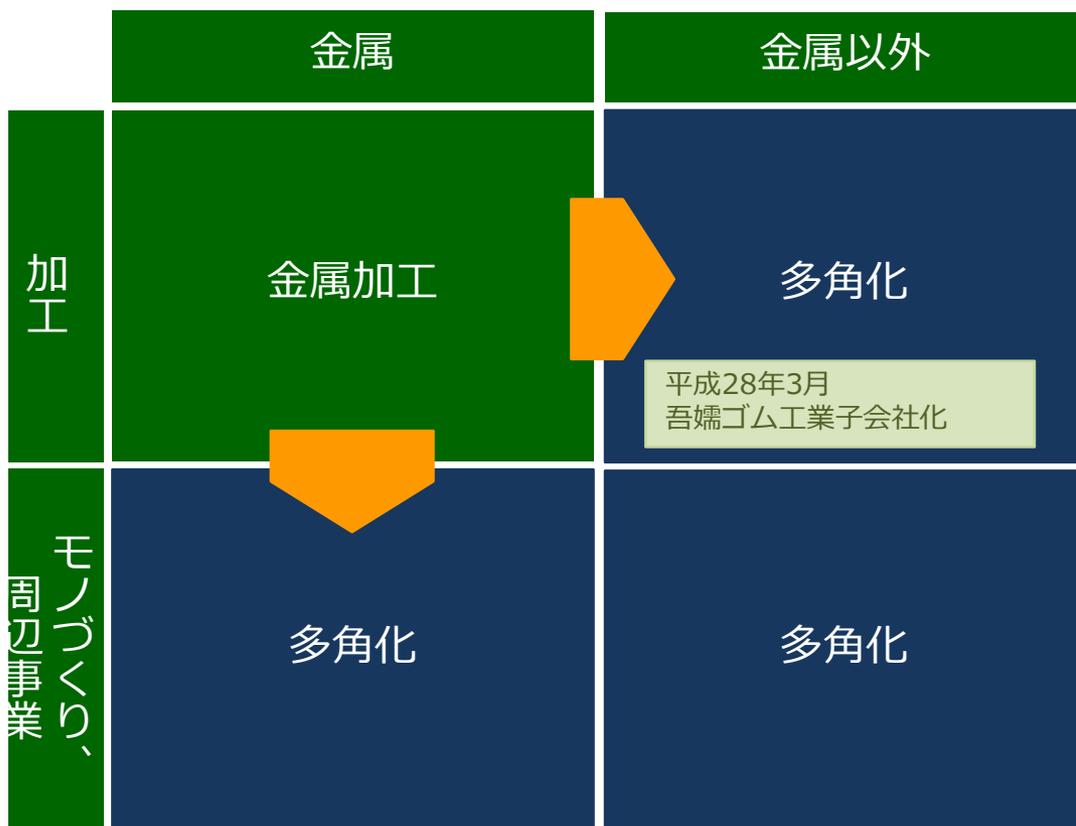
※中計初年度実績：吾孺ゴム工業株式会社（投資額900百万円）

# M & Aの推進方針

## 推進方針

(1) 金属加工だけではなく、金属以外の加工、モノづくり、周辺事業へと事業領域を拡大（事業を多角化）

(2) 協力・連携体制を醸成し、業績向上と内部統制システムの基盤固め



## 情報入手先

銀行・証券会社・専業会社等から、M&A情報を入手

## 検討

シナジー、価格、リスク、条件等を社内プロジェクトチームにて検討

## クロージング

基本合意・デューディリジェンス・機関決定・適時開示・最終合意を経てクロージング

## P M I

協力・連携体制を醸成し、業績の向上と内部統制システムの基盤固めに全力をあげる。

# 持続的な成長のための経営課題

## 持続的な成長の ための経営課題

- (1) 新たなビジネスモデルの確立
- (2) 旺盛なチャレンジ精神の発揮
- (3) ステークホルダーに向き合う経営

### (1) 新たなビジネスモデルの確立

- 当社グループの最重要戦略であるM&Aを通じて、金属加工だけではなく、金属以外の加工、モノづくり、周辺事業へと事業領域を拡大（事業を多角化）することにより、事業間のシナジーを生む新たなビジネスモデルの確立に挑戦する。
- 高い技術やノウハウを有する企業とのM & Aやアライアンスによって、差別化された製品ブランドを提供する新たなビジネスモデルの実現に挑戦する。

# 持続的な成長のための経営課題

## 持続的な成長のための経営課題

- (1) 加工業界における新たなビジネスモデルの確立
- (2) 旺盛なチャレンジ精神の発揮
- (3) ステークホルダーに向き合う経営

## (2) 旺盛なチャレンジ精神の発揮

持続的な成長を図っていくため、各部門が旺盛なチャレンジ精神をもって課題に挑戦し、新たな企業ステージを目指す。

### グループ共通

- 1.M & A、アライアンスの推進（中期経営戦略）
- 2.コスト削減の推進、定着
- 3.グループ企業間のコミュニケーション強化、協力・連携体制の強化

### 金属加工事業 (日創プロニティ)

- 1.営業基盤の強化、新商品の開発・販売強化
- 2.生産効率の改善、製造原価の低減

### ゴム加工事業 (吾孺ゴム工業)

- 1.営業基盤の強化、新商品の開発・販売強化
- 2.生産効率の改善、製造原価の低減

### 建設事業 (日創エンジニアリング)

- 1.日創グループとして材工一括受注の強化

# 持続的な成長のための経営課題

## 持続的な成長の ための経営課題

- (1) 加工業界における新たなビジネスモデルの確立
- (2) 旺盛なチャレンジ精神の発揮
- (3) ステークホルダーに向き合う経営

### (3) ステークホルダーに向き合う経営

● 株主・投資家の皆様、お取引先企業、社員、地域社会等からの信頼と期待に応えていくため、コーポレート・ガバナンスとコンプライアンスの強化、適時開示の適切な実行等により、透明かつ健全で効率の高い経営を遂行する。

# 中期経営目標（平成30年8月期）

中期経営目標  
（平成30年8月期）

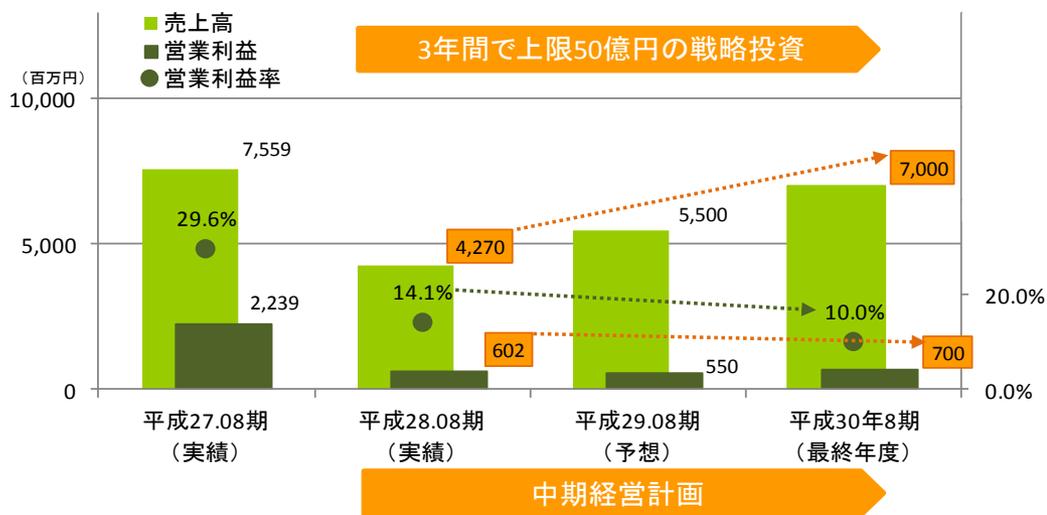
(1) 上限50億円の戦略投資を実施

(2) 最終年度：売上高70億円、営業利益7億円（営業利益率10.0%）

（百万円・円）

初年度投資実績 （平成28.08期）		平成27.08期	平成28.08期	平成29.08期	平成30年8期	平成28.08期比	
		（実績）	（実績）	（予想）	（最終年度）	増減	増減率
吾婦ゴム工業(株) 900百万円	売上高	7,559	4,270	5,500	7,000	2,730	63.9%
	営業利益	2,239	602	550	700	98	16.3%
	営業利益率	29.6%	14.1%	10.0%	10.0%	-	-4.1p
	当期純利益	1,407	389	371	432	43	11.1%
	1株当たり当期純利益	193.50	54.55	52.07	60.63	6.08	11.1%

（注）平成27.08期は単体、平成28.08期以降は連結



# 配当方針

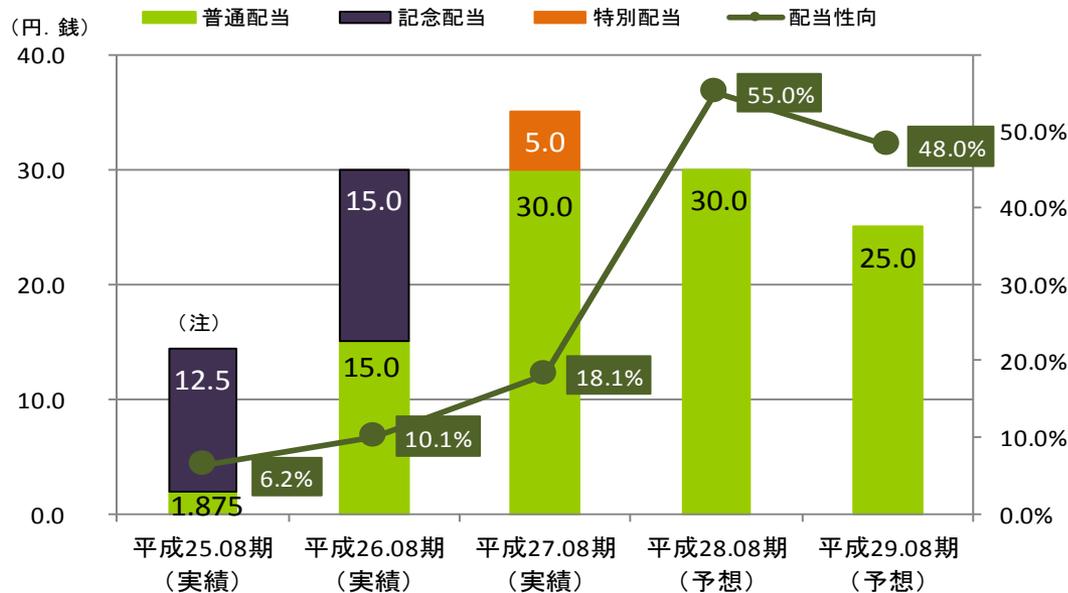
## 配当に関する基本的な考え方

株主の皆様に対する利益還元を重要な経営課題と認識し、今後の事業展開と経営基盤強化のために必要な内部留保を確保しつつ、各事業年度の経営成績を勘案して配当を行う。

(円. 銭)

	平成25.08期 (実績)	平成26.08期 (実績)	平成27.08期 (実績)	平成28.08期 (予想)	平成29.08期 (予想)
特別配当	-	-	5.0	-	-
記念配当	12.5	15.0	-	-	-
普通配当	1.875	15.0	30.0	30.0	25.0
計	14.375	30.0	35.0	30.0	25.0
配当性向	6.2%	10.1%	18.1%	55.0%	48.0%

(注) 平成25.08期の配当は、平成26.08期における株式分割(4分割)を考慮して算定



# お問い合わせ先・ご注意事項

## お問い合わせ先

日創プロニティ株式会社 経営企画室

TEL: 092-552-3749

<http://www.kakou-nisso.co.jp/>

ir@kakou-nisso.co.jp

## <ご注意事項>

本資料に記載されている計画、予測又は見通しなど、将来に関する事項等は、当社が現時点で入手可能な情報と合理的であると判断する一定の前提に基づいております。従って、将来の業績等を約束するものではなく、今後様々な要因により変動する可能性があります。